

2022 年度
生徒募集要項



JUNIOR HIGH SCHOOL OF
KOGAKUIN UNIVERSITY

中学校
帰国生選抜試験

工学院大学附属中学校

〒192-8622 東京都八王子市中野町 2647-2
TEL:042-628-4914(入試広報部) /TEL:042-628-4912(事務室)
<https://www.js.kogakuin.ac.jp>

個人情報の取扱いについて

入試・出願の際にご登録いただいた個人情報については、入学試験業務にのみ利用し、試験終了後適切に処理いたしますので、ご了承ください。

K 生徒募集要項

1. 出願

| | |
|-------|---|
| 出願資格 | 海外滞在経験が1年以上あり、帰国後3年以内の者。 またそれに準ずる海外生活経験のある者。 ※国内インターナショナルスクールに在籍している、帰国後3年以上を経過している等、資格についての詳細は入試広報部まで直接お問い合わせください。 |
| 募集人員 | インターナショナルクラス／先進クラス あわせて35名 |
| 入学検定料 | 30,000円（2回まで出願可能） |
| 出願期間 | インターネット出願のみ [第1回] 2021年11月1日（月）10:00～11月19日（金）11:59 [第2回] 2021年11月1日（月）10:00～2022年1月5日（水）11:59 ※出願方法の詳細は、「2. インターネット出願」の項目をご覧ください。 |
| 出願書類 | 下記の書類を、出願完了時に表示される送付先・メールアドレスに出願期間内に郵送（EMS）またはメールで送ってください。（なお、送付先・メールアドレスは出願サイトにも記載されています。） ※メールで送付する場合はPDF化してください。なお、試験当日に原本を提出してください。 ●出願者就学歴（本校所定様式） ●英語関連の検定合格証・スコア表の写し（検定保持者は出願時に全員提出）※ ●入学諸費用延納願〔出願時に希望した方のみ〕（本校所定様式） 本校所定様式は本校HPよりダウンロードしてください。 |

※CEFRのB2レベル以上（英検準1級、TOEFLiBT72～94、IELTS5.5～6.5等）のスコアを有している場合は、英語をみなし満点とします。検定保持者は全員出願時にご提出ください。

2. インターネット出願

平日・土日祝問わず24時間ご自宅でお申し込みが可能です。

各種クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジーでのお支払いが選べます。（お支払いには別途手数料がかかります。ご了承ください。）



出願の流れ



3. 試験

| | |
|------|--|
| 試験日 | [第1回] 2021年11月23日(火・祝) [第2回] 2022年1月8日(土) |
| 試験会場 | 工学院大学附属中学校・高等学校 校舎 |
| 選考方法 | ①「英語」+「面接」 ※1 ②「国語」+「算数」+「面接」※2 ③「英語」+「算数」+「面接」 ※1 「面接」は本人及び保護者で行い、英語と日本語による面接です。 ※1 英語のみなし満点対象者は1時間目の試験中に面接を行います。 ※2 インターナショナルクラスを志望する場合は、②は選択できません。 |
| 試験時間 | 受験生受付・集合 [第1回] 8:30 [第2回] : 13:30 [第1回] 1時間目 9:00~9:50 / 2時間目 10:05~10:55 [第2回] 1時間目 14:00~14:50 / 2時間目 15:05~15:55 [第1回・第2回ともに] 筆記試験終了後、面接試験 |

4. 合格発表・入学手続

| | |
|-------------------|--|
| 合格発表 (インターネット) | [第1回] 2021年11月23日(火・祝) 20:00 ~ 11月27日(土) 11:59 [第2回] 2022年1月8日(土) 20:00 ~ 1月12日(水) 11:59 |
| 入学手続期限 | [第1回] 2021年11月23日(火・祝) 20:00 ~ 11月27日(土) 11:59 [第2回] 2022年1月8日(土) 20:00 ~ 1月12日(水) 11:59 上記期間内に、入学諸費用をご入金いただきます。ただし、出願時に「入学諸費用延納願」を提出した場合、納入期限が2022年2月3日(木) 11:59までとなります。 期間内に手続を完了されない場合、入学の意思がないものと判断します。 |
| 入学手続方法 | 本校ホームページより入学金決済サイトにログインし、 入学諸費用 290,000 円を手続期限内にお支払い下さい。 |

※ 極めて成績が優秀な場合、特待生として1年間の授業料を免除とする合格制度があります。

K 入学手続の詳細・入学前登校日

期日までに入学諸費用の納入が確認できた方に対し、入学手続書類をお渡しします。(海外の場合はメールにて一部送付)

なお、納入された入学諸費用のうち入学金については、いかなる理由があっても返還できません。

入学辞退する場合はすみやかに事務室(042-628-4912)までご連絡ください。2022年2月28日(月)16:00までに申し出をし、辞退届を提出した場合に限り、設備充実費 50,000 円を返還いたします。

また本校に入学を希望する者は、下記入学前登校日に必ず出席してください。詳細は入学手続きのしおりをご確認ください。

入学前登校日①(制服/体操着採寸・生徒証写真撮影・生協加入登録等) 2月11日(火・祝)

入学前登校日②(入学手続書類提出) 2月18日(金)~2月22日(火) いずれか1日 ※2月20日(日を除く)

新入生登校日(入学前指導): 3月19日(土)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日程・内容を変更する可能性があります。

※一時帰国の調整ができないなどの理由で、どうしても出席できない場合は事前にご相談ください。

事情に応じ個別対応いたしますが、入学時に制服が間にあわないなどの事態が発生する可能性があります。あらかじめご了承ください。

K 入学の留保

合格後、入学手続期間内に手続を済ませた者で、現地校およびインターナショナルスクールの Semester (または Term) の修了後に帰国を予定している者は「留保届」を提出することで、2022年7月末まで入学資格を留保することができます。別途ご相談ください。

K 学費等について

1. 入学諸費用(1年次のみ)

| | | |
|-------|-----------|---|
| 入学金 | 240,000 円 | 入学手続き時に納入。 |
| 設備充実費 | 130,000 円 | 入学手続き時に 50,000 円、入学後授業料とともに残りの 80,000 円を納入。 |

2. 入学後の納入金(入学後 1 年目・年額)

| | | | |
|------------------|-----------------------|-----------|-------------------------|
| 学費 | 授業料(インターナショナルクラス) | 576,000 円 | 年 4 回分納 (4・7・10・1 月) |
| | 授業料(先進クラス) | 480,000 円 | |
| | 設備維持費 | 108,000 円 | |
| | 教育充実費(インターナショナルクラスのみ) | 60,000 円 | 4 月に一括納入 |
| その他の費用 | PTA 会費 | 15,000 円 | うち入会金 6,000 円 |
| | 生徒会費 | 5,500 円 | うち入会金 500 円 |
| | 日本スポーツ振興センター加入金 | 480 円 | |
| 合計(インターナショナルクラス) | | 764,980 円 | |
| 合計(先進クラス) | | 608,980 円 | |

※上記納入金は 2022 年度予定。金額は今後変更になる可能性があります。

※この他に教材・行事費(約 150,000 円)、異文化体験研修(3 年次実施予定)の積立金(約 150,000 円)等があります。(2022 年度予定)

3. スクールバス利用料(月額)

| | 第 1 便 | 第 2 便 | 第 1 便は早く登校し自習する生徒向けです |
|--------|----------|----------|---|
| 八王子駅から | 7,800 円 | 9,000 円 | 希望者のみの申込制 利用料は授業料と同時に年 4 回の分納 ※新宿西口便は、別途ご案内いたします。 |
| 拝島駅から | 11,800 円 | 13,000 円 | |
| 北野駅から | 8,800 円 | 10,000 円 | |
| 南大沢駅から | 15,000 円 | | |

※上記スクールバス利用料は、2021 年 7 月現在の料金です。金額は今後変更になる可能性があります。

K 授業料負担軽減制度

本校では、以下の授業料負担軽減制度があります。内容は 2021 年 7 月現在のものです。

【工学院大学附属中学校授業料給付規程】

申請資格：①全学年対象 ②附属中学校に在籍し、入学後に経済的理由により修学が困難になった者

金 額：申請が認められた学費納入期から 1 年以内の授業料・設備維持費相当額給付措置

募集期間：随時

返還方法：不要

緊急時の対応について

入試当日に緊急事態（大雪や大規模災害、交通機関の大幅な遅延など）が発生した際の対応については本校ホームページでお知らせいたします

新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態の際も同様です。